

現場説明書の質問に対する回答書

令和7年6月11日

入札参加者様

公益財団法人 横浜市建築保全公社
機械設備課長

工事名 中野地域ケアプラザ吸収冷温水機等更新工事

工事場所 栄区中野町400番地2

上記工事の現場説明書に関し、質問がありましたので、次のとおり回答いたします。

	質問	回答
1	弁類保温の保温外装は、屋内 カー亜鉛鉄板、屋外 ステンレス鋼板でよろしいでしょうか。また、今回冷却水管の弁類の保温は、積算計上されていますでしょうか。	弁類保温の保温外装は、屋内はカー亜鉛鉄板、屋外はステンレス鋼板で積算しています。冷却水管の弁類の保温は、積算計上していません。
2	防振継手の保温について、冷温水機廻りの防振継手は保温有り、ポンプ廻りは保温不要と考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
3	保温のない配管の塗装について、屋外露出は塗装有り、屋内露出は塗装無しと考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
4	設計書に耐震支持費の項目がないことから、機械室内の配管支持は再利用可能と考えてよろしいでしょうか。	再利用です。
5	図M-01 特記仕様書 一般共通事項に「 ■ 現地調査により撤去部にアスベスト、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていると判明した場合は、処理方法について監督員と協議する。」とあります。また、特記事項 ※アスベストの状況 ■ みなし（含有あり） 含有部位 ■ その他（冷温水機内燃料配管フランジ部、バーナー取付部、煙道パッキン）と記載されています。調査はしていないが、記載部位をアスベスト含有とみなし処分を行い、それ以外の部位の調査費は別途と考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。

